

## 文化構想学部・文学部 **英語カリキュラム** について

英語科目には、1年次に履修する**必修科目**（必修 EGC : English for General Purposes）と学年を問わない**選択履修科目**があります。ともに**すべて英語で**行われます。

まず1年次には必修科目として**春学期は必修 EGC イ**、**秋学期は必修 EGC ロ**を履修（自動登録）し、4技能について総合的に学びます。それと並んで、1年次から卒業まで履修可能な**選択英語**として Academic Skills(AS)と Intensive Studies(IS)の2つの科目群が置かれています。選択英語科目については、履修制限を越えなければ、いくつ履修しても構いません。

### ■英語科目の構成

必修英語(自動登録) 1年次	選択英語 (選択履修)			1年次～卒業まで
	Academic Skills			Intensive studies
春学期 必修 EGC イ 秋学期 必修 EGC ロ	Writing	Reading	Discussion	U (Upper-intermediate) 以上のレベル
	設定レベル L (Lower-intermediate) M (Intermediate) U (Upper-intermediate) ※レベルの目安は次頁の表を参照 ※この他に教職関連の Integrated があります。			

### ■選択英語科目について

選択英語科目は大きく **Academic Skills 科目群**と **Intensive Studies 科目群**とに分けられます。

□**Academic Skills(AS)**は英語「で」行われる広域科目・専門科目を学ぶために必要な英語能力を身につけることを目的として設置される科目です。この科目群はさらに **Writing, Reading, Discussion** の3つのカテゴリーに分かれ、またそれぞれの科目には **L (Lower-intermediate), M(Intermediate), U (Upper-intermediate)**の3つのレベルが設定されています。（なお Academic Skills には他に教職（英語）取得のために必要な科目として **Integrated** が3科目置かれていますが、こちらのレベルは **M** またはそれ以上になります。詳しくはシラバスを参照してください。）




□**Intensive Studies(IS)**は、英語「で」学ぶ広域科目・専門的な科目です。英語「を」学ぶのではなく、ここでは個々の学問領域について、4つの技能(**Reading, Writing, Listening, Speaking**)を用いながら英語「で」学びます。この科目群は授業形態によって **Lecture-type**と **Seminar-type**に分かれます。個々の科目によってレベルはやや異なりますが、おおよそ **U** レベル (**Upper-intermediate**) 程度の能力を要します。

## ■選択英語 Academic Skills (AS)のカテゴリーとレベルについて

Academic Skills(AS)は、学術研究に必要な英語能力を養うことを目的として、**Writing, Reading, Discussion** の3つのカテゴリーの科目が置かれています。**Writing** では、レポートや論文の作成に必要な「書く」ための英語能力を養い、**Reading** では学術的な文献の内容について迅速かつ的確に把握、理解できることをめざし、**Discussion** では、**listening** や **presentation** を含め、授業において口頭で行われる様々な言語活動に要する力を養います。それぞれもっぱら学習する技能によってカテゴリーが分かれています。どの授業でも4技能すべてを使用します。

前述のように、Academic Skills(AS)には、L (Lower-intermediate), M(Intermediate), U (Upper-intermediate)の3つのレベルが設定されています。それぞれのレベルについては、**おおまかな目安として**下のような各種英語技能試験との対照表を作成しましたので、参考にしてください。ただし、これらの技能試験を受けなければ履修できない、ということではありません。また、表には4技能の総合点のみ書かれていますが、履修の際には、個々の技能における自分のレベル（点数）を考慮し、技能ジャンルによって異なるレベルの科目を履修するなど、バランスのとれた英語力の獲得を目指してください。

## ■レベルの目安 ※「英語4技能試験情報サイト」他を参考に作成

L	M	U	英検	TEAP	TOEFL iBT	TOEIC/ TOEIC S&W	IELTS	GTEC CBT	CEFR
							8.5-9.0		C2
			1級 2630-3400		95-120	1305-1390 L&R 945~ S&W 360~	7.0-8.0	1400	C1
			準1級 2304-3000	334-400	72-94	1095-1300 L&R 785~ S&W 310~	5.5-6.5	1250-1399	B2
			2級 1980-2600	226-333	42-71	790-1090 L&R 550~ S&W 240~	4.0-5.0	1000-1249	B1
			準2級 1284-1800	150-225		385-785 L&R 225~ S&W 160~	3.0	700-999	A2
			3級~5級			200-380 L&R 120~ S&W 80~	2.0	-699	A1

## ■科目名の表記と履修時の注意点

シラバスでは、Academic Skills の科目名は以下のように表記されています。

	選択英語内 科目群名	技能カテゴリー	レベル	学期表示 s=春 f=秋	クラス番号 A-H
例	Academic skills	(Reading)	M	s	A

同じ科目には複数のクラスが設定されており、学期表示(s/f)の後に A~H までの記号で示されます。つまり「Academic Skills (Reading) MsA」は「リーディングの Intermediate レベル 春期開講の A クラス」という意味になります。同一の科目で二つのクラスを履修することはできませんが、Academic Skills (Reading) MsA と Academic Skills(Reading) MfA のように学期が異なる場合は別科目であり、教科書も異なりますので、カテゴリーとレベル、あるいはクラス番号が同じでも履修することができます。また、使用テキストのレベル（[CEFR level B1-B2]など）が授業概要の最後に記されていますが、必ずしも科目レベルとは一致しません。履修の際は科目のレベル記号をまず参考にしてください。（Integrated 科目には、レベル表示はありません）

## □選択英語 Intensive Studies (IS) の科目名表記について

Intensive Studies では、それぞれの番号に続いて、学ぶ内容のジャンルが(Philosophy 1) や、(Introduction to Japanese Culture and Civilization 3)などと括弧に入れて示されています。区別のため、同一ジャンル内で番号が付けられていますが、それぞれ別個の科目であり、番号順に履修する必要はありません。

## ■到達目標について

文化構想学部・文学部の英語カリキュラムにおける到達目標は、

**「英語「で」行われる一般科目において受講・単位取得可能な英語運用能力を養う」**

ことにあります。「英語「で」行われる一般科目」とは、英語カリキュラム内では、Intensive Studies 群の科目にあたります。この科目では、テキストや資料を読み（Reading）、講義や他の学生の発表を聞いて理解し（Listening）、ディスカッションやプレゼンテーションを行い（Speaking）、レポートや課題を作成する（Writing）という形で、4 技能にわたるバランスの取れた力が必要となります。皆さんは、前ページにある「レベルの目安」を参照した上で、卒業時には Upper Intermediate レベルに到達し、少なくとも 1 科目は Intensive Studies の科目を履修、単位取得することを目指して、積極的に選択英語を履修するようにしてください。

皆さんが卒業する時点においては、就職する場合においても、また大学院で勉強を続ける場合においても、英語を 4 技能にわたって高いレベルで用いることのできる力が、現在よりもさらに強く求められることが予想されます。文化構想学部・文学部の英語カリキュラムではあくまで academic な場面で用いられる英語を学びますが、そこで養われた能力は、疑いなく、卒業後の皆さんの可能性を広げ、未来を切り開く大きな助けとなります。

どうぞ皆さん、英語の力を伸ばすことを真剣に考えてください。

英語科目の履修にあたって質問、あるいはアドバイスが必要な場合は、下記の教員まで相談してください

スティーヴン・ライアン Steven Ryan [stephen.ryan@waseda.jp](mailto:stephen.ryan@waseda.jp)

安藤文人 [fando111@waseda.jp](mailto:fando111@waseda.jp)